

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 07087293
PUBLICATION DATE : 31-03-95

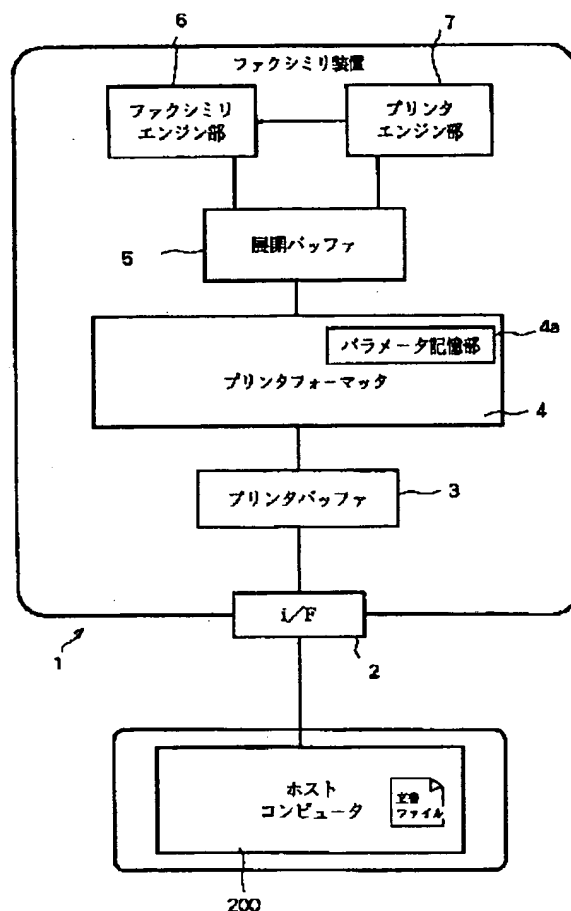
APPLICATION DATE : 13-09-93
APPLICATION NUMBER : 05226875

APPLICANT : CANON INC;

INVENTOR : NAKAO MUNEKI;

INT.CL. : H04N 1/32 H04N 1/00

TITLE : FACSIMILE EQUIPMENT



ABSTRACT : PURPOSE: To provide a facsimile equipment in which transmission data consisting of printer description language can be received from a data source, developed to image data with resolution corresponding to resolution for facsimile transmission, and transmitted.

CONSTITUTION: This equipment is provided with a function as a printer terminal and a function as a facsimile terminal. Also, the equipment is provided with an interface part 2 which controls an interface with a host computer 200 which generates print data. When the transmission data consisting of the printer description language are inputted from the host computer 200, the transmission data are developed to the image data by a printer formatter 4 so that the resolution corresponding to the resolution of facsimile transmission can be obtained, and stored in a development buffer 5.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-87293

(43) 公開日 平成7年(1995)3月31日

(51) Int.Cl.⁶

H04N 1/32
1/00

識別記号

G 7232-5C
C

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平5-226875

(22) 出願日 平成5年(1993)9月13日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 中尾 宗樹

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内

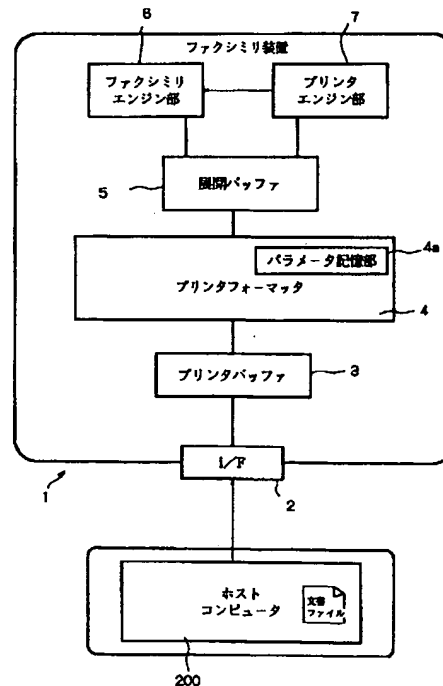
(74) 代理人 弁理士 大塚 康徳 (外1名)

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【目的】 データ源よりプリンタ記述言語で構成された送信データを受け取り、ファクシミリ送信用の解像度に応じた解像度のイメージデータに展開して送信できるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【構成】 プリンタ端末としての機能とファクシミリ端末としての機能を有するファクシミリ装置であって、プリントデータを発生するホストコンピュータ200とのインターフェースを制御するインターフェース部2と、ホストコンピュータ200よりプリンタ記述言語で構成された送信データを入力すると、その送信データを、ファクシミリ送信する解像度に応じた解像度となるように、プリンタフォーマット4でイメージデータに展開して展開バッファ5に記憶する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 プリンタ端末としての機能とファクシミリ端末としての機能とを有するファクシミリ装置であって、

プリントデータを発生するデータ源とのインターフェースを制御するインターフェース手段と、

前記インターフェース手段を介して、前記データ源よりプリンタ記述言語で構成された送信データを入力する入力手段と、

前記入力手段により入力された送信データを、ファクシミリ送信する解像度に応じた解像度でイメージデータに展開する展開手段と、

を有することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 前記データ源は前記送信データの解像度を指示するためのコマンドを発行することを特徴とする請求項1に記載のファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はファクシミリ装置に関し、特にプリンタ端末としての機能とファクシミリ端末としての機能とを合わせ持つファクシミリ装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】プリンタ端末としての機能と、ファクシミリ端末としての機能とが一体となっているファクシミリ装置が知られており、このようなファクシミリ装置では、ホストコンピュータ等の外部機器と接続するためのインターフェース手段が装備されている。このようなファクシミリ装置では、ホストコンピュータよりビットイメージデータ形式で印刷データを入力して印刷を行っている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述のような構成では、ホストコンピュータよりファクシミリ装置に転送するデータ量が増大し、そのデータ転送に多くの時間を要することになる。そこで、ホストコンピュータでプリンタ記述言語により記述された文書データを作成し、そのプリンタ記述言語で作成された文書データを、直接、このようなファクシミリ装置に伝送して印刷することが望まれていた。

【0004】本発明は上記従来例に鑑みてなされたもので、データ源よりプリンタ記述言語で構成された送信データを受け取り、ファクシミリ送信用の解像度に応じた解像度のイメージデータに展開して送信できるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明のファクシミリ装置は以下の様な構成を備える。即ち、プリンタ端末としての機能とファクシミリ端末としての機能とを有するファクシミリ装置であって、

プリントデータを発生するデータ源とのインターフェースを制御するインターフェース手段と、前記インターフェース手段を介して、前記データ源よりプリンタ記述言語で構成された送信データを入力する入力手段と、前記入力手段により入力された送信データを、ファクシミリ送信する解像度に応じた解像度でイメージデータに展開する展開手段とを有する。

【0006】

【作用】以上の構成において、プリントデータを発生するデータ源とのインターフェースを制御するインターフェース手段を介して、データ源よりプリンタ記述言語で構成された送信データを入力する。この入力された送信データを、ファクシミリ送信する解像度に応じた解像度でイメージデータに展開する。

【0007】

【実施例】以下、添付図面を参照して本発明の好適な実施例を詳細に説明する。

【0008】図1は本発明の一実施例のファクシミリ装置の機能構成を示すブロック図、図2はこのファクシミリ装置の概略構成を示すブロック図である。

【0009】まず図2を参照して、本実施例のファクシミリ装置の構成を説明する。

【0010】図2において、101はファクシミリ装置全体を制御する、例えばマイクロプロセッサ（CPU）等から構成されたファクシミリ制御部で、CPU（中央処理部）104、CPU104の制御プログラムやフォントデータ等の各種データを記憶しているROM103、CPU104のワークエリアとして使用され、各種データを一時的に記憶するRAM102などを備え、画像データの入出力および通信処理全体を制御している。

【0011】画像データの入出力は、原稿画像を読み取って入力する読取部100、画像データに基づいてプリントを実行する記録部111により行われる。即ち、読取部100における原稿画像データの読み取りは、CCD（電荷蓄積素子）センサ、原稿搬送機構等により行われ、こうして読み取られた画像データはインクジェットプリンタ等の記録部111に送られてプリントされる（コピー動作時）。

また網制御部（NCU）106、モデム105を介して受信したファクシミリ画像データは、復号されて2値画像データに変換された後、記録部111に送られて記録紙等の被記録媒体にプリントされる。電話回線等の通信回線Nとの接続、及び回線Nとの間のデータの入出力は、モデム105およびNCU106により行われる。このNCU106には、通話及び手動制御用の電話機118が接続されている。

【0012】111は記録部で、ここでは例えばインクジェットヘッド、記録紙搬送機構及びプリンタ制御部等を有している。107は操作パネルで、図3を参照して後述するように、ファクシミリ操作用の操作部108と、記録部111を操作するための操作部109とが設

けられている。このファクシミリ操作部108には、送信先を特定するために電話番号を入力するテンキー、短縮キー、各種ファンクションキーや、動作モードをファクシミリモードかプリンタモードに切り替えるためのプリンタキー、電話番号、時刻の表示などに用いられる、例えば液晶等の表示器等が設けられている。また記録部用の操作部109には、オンライン/オフラインの切替キー、ラインフィード（用紙送り）キー、フォームフィードキー、プリントモードキーなどに加えて、各種プリントモードを設定するための操作キーが設けられている。

【0013】コネクタ115は、プリントデータのデータ源であるホストコンピュータ200と接続されており、ファクシミリ制御部101はホストコンピュータ200より送られてくるデータをコネクタ115を介して受信している。

【0014】図6は、本実施例の記録部の具体例を示す図である。

【0015】同図において、駆動モータ5013の正逆回転に連動して駆動力伝達ギア5011、5009を介して回転するリードスクリュー5005の螺旋溝5004に対して係合するキャリッジHCはピン（不図示）を有し、矢印a、b方向に往復移動される。このキャリッジHCには、インクジェットカートリッジIJCが搭載されている。本実施例では、インクジェットカートリッジIJCは熱エネルギーを用いてインクに状態変化を生起させることにより、吐出口よりインク滴を吐出する記録ヘッド及びインクタンクITが一体に構成されたものであり、キャリッジに対し着脱可能なディスボーズブルタイプのものである。5002は紙押え板であり、キャリッジの移動方向に互って紙をプラテン5000に対して押圧する。5007、5008はフォトカブラで、キャリッジのレバー5006のこの域での存在を確認して、モータ5013の回転方向切り換え等を行うためのホームポジション検知手段である。5016は記録ヘッドの前面をキャップするキャップ部材5022を支持する部材で、5015はこのキャップ内を吸引する吸引手段で、キャップ内開口5023を介して記録ヘッドの吸引回復を行う。5017はクリーニングブレードで、5019はこのブレードを前後方向に移動可能にする部材であり、本体支持板5018にこれらが支持されている。ブレードは、この形態でなく周知のクリーニングブレードが本例に適用できることは言うまでもない。又、5012は、吸引回復の吸引を開始するためのレバーで、キャリッジと係合するカム5020の移動に伴って移動し、駆動モータからの駆動力がクラッチ切り換え等の公知の伝達手段で移動制御される。

【0016】これらのキャッピング、クリーニング、吸引回復は、キャリッジがホームポジション側の領域に來た時にリードスクリュー5005の作用によってそれら

の対応位置で所望の処理が行えるように構成されているが、周知のタイミングで所望の作動を行うようにすれば、本例にはいずれも適用できる。

【0017】次に図1を参照して、本実施例のファクシミリ装置の機能を説明する。

【0018】ホストコンピュータ200は、文字コードやプリンタ記述言語によって記述された文字や図形が含まれる文書ファイルを記憶しており、インターフェース部（i/f）2を通して本実施例のファクシミリ装置1に送信している。3はプリントバッファで、i/f2を介して入力したデータを一時的に蓄積しており、このプリントバッファ3はRAM102に設けられている。4はプリンタフォーマッタで、ホストコンピュータ200から送られてくる文字コードやプリンタ記述言語を解析し、パラメータ記憶部4aに記憶されているパラメータ（図4のコマンドで指示される）及びファクシミリ送信モード等に応じた解像度でビットイメージに展開している。このプリンタフォーマッタ4は、CPU104及びROM103に記憶された制御プログラムにより実現されている。

【0019】5は展開バッファで、プリンタフォーマッタ4でビットマップに展開された文字や図形のイメージが展開される。この展開バッファ5はRAM102に設けられている。6はファクシミリのエンジン部で、展開バッファ5に展開されたビットマップイメージデータを受け取って符号化し、その符号化されたデータをモデム105、NCU106を介してファクシミリ信号として送信している。7はプリンタエンジン部で、展開バッファ5に展開されたビットマップイメージデータを受け取り、画像として記録紙等に印刷出力している。これは図2の記録部111に相当している。

【0020】図3は本実施例のファクシミリ装置の操作パネル107のキー配置及び構成を示す外観図である。

【0021】図3において、201はファクシミリモードであることを示すインジケータで、ファクシミリモード時に点灯される。202はプリンタモードであることを示すインジケータで、プリンタモードの時に点灯される。203はモード切替スイッチで、このキーを押下する毎に、ファクシミリモードとプリンタモードとが交互に切り替えて設定される。205は機能キーで、ファクシミリモードでは、例えば同報通信、ダイレクト通信、親展通信等の各種機能を設定するときに使用され、この時に設定された機能が表示部200に表示される。またプリンタモード時には、オンラインとオフラインの切替を指示するキーとして使用される。206はセレクトキーで、ファクシミリモード時にはファインモード、標準モード等の送信モードを選択するのに使用される。またプリンタモードでは、高品位印刷、或いは通常印刷、また高速印刷等の指定のために使用される。

【0022】207はストップ/クリアキーで、ファク

シミリモード時には送信の停止或いはエラーの解除等のために使用される。208は、ファクシミリモード時には送信の開始を指示したり、コピー動作の開始を指示するキーとして使用される。またプリンタモード時には、用紙送りキー(LF)或いはフォームフィードキー(F)として機能する。なお、これらのキーに対する機能表示エリア209が設けられており、前述したように、各モードに応じてキー205~208のそれぞれの有している機能が表示される。このように、これらキー205~208のそれぞれは、そのときのモードに応じて、図2のFAX操作部108或いは記録部操作部109として機能することになる。

【0023】図4は、文書ファイルをホストコンピュータ200からファクシミリ送信文書として出力する場合、ホストコンピュータ200から実施例のファクシミリ装置1に対して送られるコマンドを説明するための図である。

【0024】図4はファクシミリ送信用プリンタフォーマット4における解像度切り替えコマンドの一例を示し、ここではそのデータフォーマットが示されている。このコマンドは、ESCコード(1Bh:hは16進数を示す)の後に“F(46h)”が続き、最後に副走査方向の解像度を示すパラメータが付与されている。このパラメータは、パラメータ記憶部4aに記憶される。

【0025】このコマンドの持つ意味は、プリンタフォーマット4が展開するイメージデータの解像度を、主走査方向にはファクシミリ通信の画像規格に設定し、副走査方向にはパラメータの値に設定するものである。

【0026】図5は本実施例のファクシミリ装置における動作を示すフローチャートで、この処理を実行する制御プログラムは制御部101のROM103に記憶されている。

【0027】図5の処理はファクシミリモードでの処理の流れを示しており、ステップS1で、ホストコンピュータ200から図4に示されるフォーマットのコマンドが送られたかどうかを判断する。ホストコンピュータ200よりの送信指示でない時はステップS10に進み、オペレータに指示に従って、原稿画像を読み取って送信する等の、通常のファクシミリ送信処理を実行する。なお、このファクシミリ装置1がプリンタモードで待機状態の時は、プリンタフォーマット4がホストコンピュータ200より送られてくるプリント記述言語でかかれた文書データをイメージに展開する。この時のイメージデータの解像度は、通常はプリンタエンジン7の解像度に設定されている。

【0028】ステップS1で、ホストコンピュータ200より送られてくるコマンドを受信するとステップS2に進み、プリンタフォーマット4はこのコマンドを解析し、そのコマンドのパラメータをパラメータ記憶部4aに記憶する。このパラメータ記憶部4aの値を参照する

ことにより、文書データをイメージに展開する際の副走査方向の解像度が決定され、ファクシミリ送信を行うデータの解像度が変更される。なお、このファクシミリ送信されるイメージデータの主走査方向の解像度は、操作パネル107で指示された送信モード(標準、ファイン、スーパーファインモード等)に応じて決定される。

【0029】その後ステップS3で、ホストコンピュータ200よりの文書データを受信したかどうかを調べ、文書データを受信するとステップS4に進み、その受信した文書データをプリントバッファ3に記憶する。次にステップS5に進み、プリントバッファ3に1ページ分の文書データが記憶されたかどうかを判断し、1ページ分の文書データが記憶されていなければステップS3に戻り、前述の処理を実行する。

【0030】こうして1ページ分の文書データを受信してプリントバッファ3に記憶するとステップS6に進み、この受取った文書ファイルの1ページ分の文字コードやプリンタ記述言語からなる文書データを、パラメータ記憶部4aに記憶されたパラメータに従った、ファクシミリ送信に対応した解像度で、展開バッファ5にビットマップ展開する。この展開バッファ5は、少なくとも1ページ分のイメージデータを格納することができる。こうしてプリンタフォーマット4が1ページ分のイメージを展開し終わるとステップS7に進み、ファクシミリのエンジン部6を起動する。これにより、ファクシミリのエンジン部6は展開バッファ5に展開されているイメージデータを順次符号化して送信する。こうしてステップS8でホストコンピュータ200より受信した全文書データの送信を終了するとこの送信処理を終了するが、そうでない時はステップS1に戻り、前述の処理を実行する。

【0031】なお、このフローチャートには示していないが、ステップS7でファクシミリの送信を行っている間、この送信処理と並行して、プリンタフォーマット4はプリントバッファ3から次の1ページ分の文字コードやプリンタ記述言語のデータを、前記と同様にして、展開バッファ5の空領域に展開している。

【0032】また、文書ファイルが複数ページで構成されている場合、ファクシミリエンジン部6が1ページを送信し終わったら、続いて展開バッファ5の次の1ページの送信を開始する。以後、この動作を繰返し行って、文書ファイルの全てのページが順次送信される。

【0033】ここで、プリンタフォーマット4のパフォーマンスが低い場合や、展開される画像が複雑であるため等の理由により、そのパターン展開に時間がかかる場合には、ある1ページを送信し終わった後でも、プリンタフォーマット4が次のページのビットマップ展開を行っている場合が考えられる。その場合は、プリンタフォーマット4はファクシミリエンジン部6に対して、次のページをまだ送信できない旨を伝える。これを受けて、フ

ファクシミリエンジン部6は回線を切断することによって、被呼側のファクシミリ装置に対して送信エラーが発生したことを通知する。

【0034】なお、前述の実施例におけるファクシミリ送信時、ある1ページの送信が終わった後で、プリンタフォーマッタ4が次の1ページのビットマップ展開をやり終えていない場合には、ファクシミリエンジン部6は、その1ページの送信を画像伝送速度を低くして行う。これにより送信時間を稼ぐようにして、そのプリンタフォーマッタ4は次の1ページ分のデータ展開に間に合わせることができる。このようにすることにより、時間的な空き時間を発生させることなく、エラーの発生を抑えて、連続してファクシミリエンジン部6よりファクシミリ送信ができる効果がある。

【0035】また前述の実施例では、展開バッファ5のメモリサイズを1ページ分とし、ファクシミリエンジン部6の起動を文書ファイルの最初の1ページを展開し終えた時点で行なうようにしたが、展開バッファ5のメモリサイズを1ページの大きさに限定せず、展開バッファ5で文書ファイルを展開できる最大の大きさに展開し終わった時点で、ファクシミリエンジン部6を起動してもよい。

【0036】また、前述の実施例において、ホストコンピュータ200よりの文書データをファクシミリ送信する際、ホストコンピュータ200からファクシミリ装置に対してプリンタフォーマッタ4の解像度を切り替えるために送るコマンドの送出せず、ファクシミリ装置1で手動操作により、その解像度をファクシミリ送信の解像度に設定するようにしても良い。具体的には、例えば操作パネル107に解像度の設定キーを設け、この設定キーが押下されたらプリンタフォーマッタ4の解像度をファクシミリ送信の解像度に切り替えるようにしても良い。この場合は、ホストコンピュータ200からは通常のプリントデータを送信して印刷する要領で、ファクシミリ送信を行うことが可能となる。

【0037】尚、本発明は複数の機器から構成されるシステムに適用しても、1つの機器からなる装置に適用しても良い。また、本発明はシステム或は装置に、本発明を実施するプログラムを供給することによって達成される場合にも適用できることは言うまでもない。

【0038】以上説明したように本実施例によれば、ホストコンピュータ200よりのプリンタ記述言語で構成されている文書データを、直接ファクシミリ画像規格の解像度へ展開して送信することができるので、文書ファイルの文字や図形を忠実に送信できる効果がある。

【0039】また、ホストコンピュータ200からファクシミリ装置にプリンタ記述言語のまま送信できるので、データ転送量が少なくなり短時間でデータを転送できる。これにより、ホストコンピュータにとって、ファクシミリの送信作業に占有される時間を少なくできる効

果がある。

【0040】更に、ホストコンピュータ200より、イメージデータに展開するための解像度を切り替えることができるため、ファクシミリ装置で手動等による解像度切り替えのための操作の手間がはぶけるという効果もある。

【0041】なお、上記実施例では、特にインクジェット記録方式の中でも、熱エネルギーを利用して飛翔的液滴を形成し、記録を行うインクジェット方式の記録装置を例に取り説明したが、その代表的な構成や原理については、例えば、米国特許第4723129号明細書、同第4740796号明細書に開示されている基本的な原理を用いて行うものが好ましい。この方式はいわゆるオンデマンド型、コンティニユアス型のいずれにも適用可能であるが、特に、オンデマンド型の場合には、液体（インク）が保持されているシートや液路に対応して配置されている電気熱変換体に、記録情報に対応して膜沸騰を越える急速な温度上昇を与える少なくとも1つの駆動信号を印加することによって、電気熱変換体に熱エネルギーを発生せしめ、記録ヘッドの熱作用面に膜沸騰を生じさせて、結果的にこの駆動信号に1対1で対応した液体（インク）内の気泡を形成できるので有効である。この気泡の成長、収縮により吐出用開口を介して液体（インク）を吐出させて、少なくとも1つの滴を形成する。この駆動信号をパルス形状をすると、即時適切に気泡の成長収縮が行われるので、特に応答性に優れた液体（インク）の吐出が達成でき、より好ましい。

【0042】このパルス形状の駆動信号としては、米国特許第4463359号明細書、同第4345262号明細書に記載されているようなものが適している。なお、上記熱作用面の温度上昇率に関する発明の米国特許第4313124号明細書に記載されている条件を採用すると、さらに優れた記録を行うことができる。

【0043】記録ヘッドの構成としては、上述の各明細書に開示されているような吐出口、液路、電気熱変換体の組み合わせ構成（直線状液流路または直角液流路）のほかに熱作用面が屈曲する領域に配置されている構成を開示する米国特許第4558333号明細書、米国特許第4459600号明細書を用いた構成としても良い。

【0044】加えて、複数の電気熱変換体に対して、共通するスロットを電気熱変換体の吐出部とする構成を開示する特開昭59-123670号公報や熱エネルギーの圧力波を吸収する開口を吐出部に対応させる構成を開示する特開昭59-138461号公報に基づいた構成としても良い。

【0045】さらに、記録装置が記録できる最大記録媒体の幅に対応した長さを有するフルラインタイプの記録ヘッドとしては、上述した明細書に開示されているような複数記録ヘッドの組み合わせによってその長さを満たす構成や、一体的に形成された1個の記録ヘッドとして

の構成のいずれでもよい。

【0046】加えて、装置本体に装着されることで、装置本体との電気的な接続や装置本体からのインクの供給が可能になる交換自在のチップタイプの記録ヘッド、あるいは記録ヘッド自体に一体的にインクタンクが設けられたカートリッジタイプの記録ヘッドを用いた場合にも、本発明は有効である。

【0047】また、記録ヘッドに対しての回復手段、予備的な補助手段等を付加することは、本発明の効果を一層安定にできるので好ましいものである。これらを具体的に挙げれば、記録ヘッドに対してのキャッピング手段、クリーニング手段、加圧あるいは吸引手段、電気熱変換体あるいはこれとは別の加熱素子あるいはこれらの組み合わせによる予備加熱手段、記録とは別の吐出を行う予備吐出モードを行うことも安定した記録を行うために有効である。

【0048】以上説明した本実施例においては、インクを液体として説明しているが、室温やそれ以下で固化するインクであって、室温で軟化するもの、もしくは液体であるもの、或いは上述のインクジェット方式ではインク自体を30℃以上70℃以下の範囲内で温度調整を行って、インクの粘性を安定吐出範囲にあるように温度制御するものが一般的であるから、使用記録信号付与時にインクが液状をなすものであればよい。

【0049】加えて、積極的に熱エネルギーによる昇温をインクの固形状態から液体状態への状態変化のエネルギーとして使用せしめることで防止するか、またはインクの蒸発防止を目的として放置状態で固化するインクを用いるかして、いずれにしても熱エネルギーの記録信号に応じた付与によってインクが液化し、液状インクとして吐出するものや、記録媒体に到達する時点では、既に固化し始めるもの等のような、熱エネルギーによって初めて液化する性質のインクとしても良い。このような場合インクは、特開昭54-56847号公報、あるいは、特開昭60-71260号公報に記載されているような、多孔質シート凹部または、貫通孔に液状又は、固形物として保持された状態で、電気熱変換体に対して対向するような形態としてもよい。本発明においては、上述した各インクに対しても最も有効なものは、上述した膜沸騰方式を実行するものである。

【0050】さらに加えて、記録装置の形態としては、ワードプロセッサやコンピュータ等の情報処理機器の画

像出力端末として、一体または別体に設けられるもの、他、リーダ等と組み合わせた複写装置、さらには送受信機能を有するファクシミリ装置の形態を取るものであっても良い。

【0051】又、熱エネルギーを利用したインクジェット方式に限らず、 piezo素子等を利用したインクジェット方式にも適用可能である。

【0052】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、データ源よりプリンタ記述言語で構成された送信データを受け取り、ファクシミリ送信用の解像度に応じた解像度のイメージデータに展開して送信できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例のファクシミリ装置の機能構成を示す機能ブロック図である。

【図2】本実施例のファクシミリ装置の概略構成を示すブロック図である。

【図3】本実施例のファクシミリ装置の操作パネルの配置例を示す図である。

【図4】本実施例のホストコンピュータよりファクシミリ装置に伝送される解像度の切り替えを指示するコマンドの説明図である。

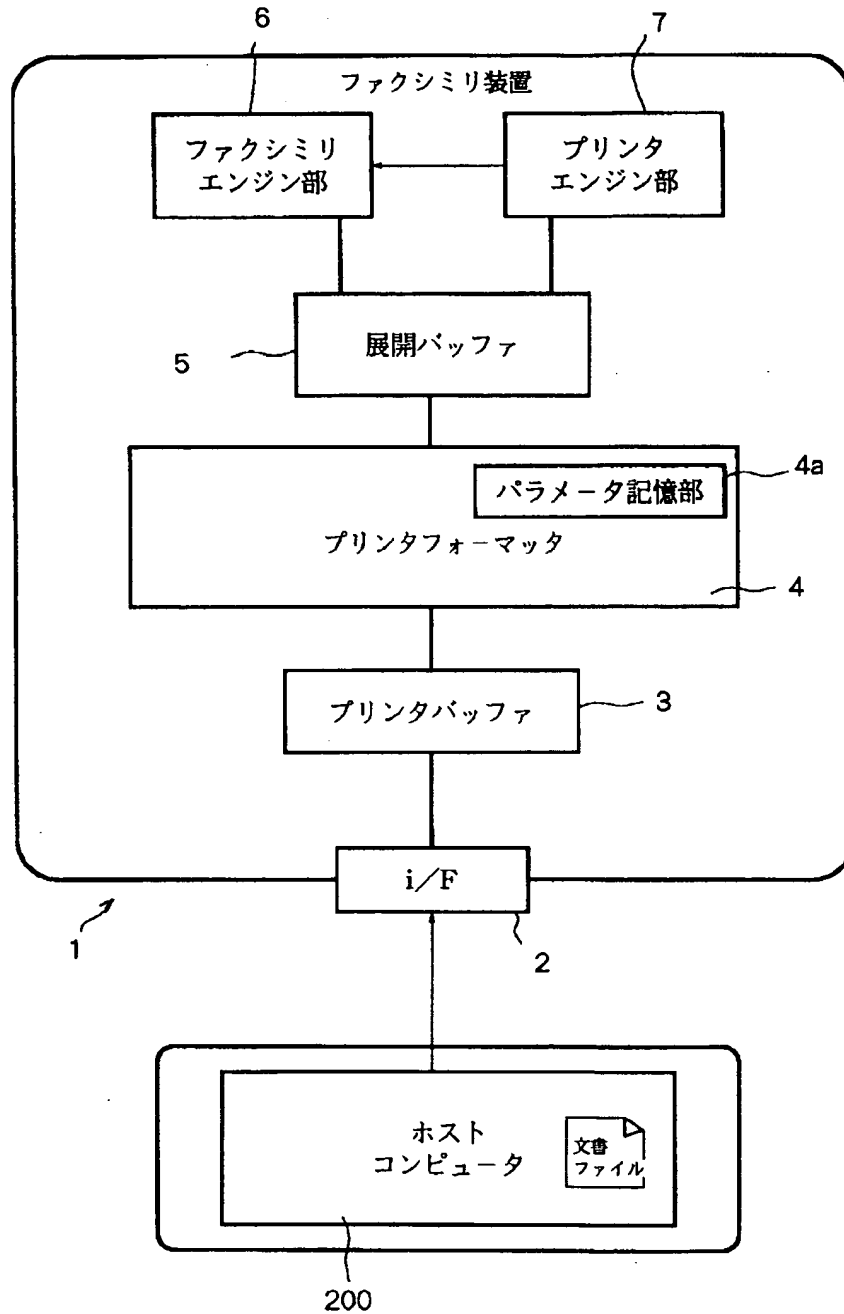
【図5】本実施例のファクシミリ装置における動作を示すフローチャートである。

【図6】本実施例の記録部の具体例を示す図である。

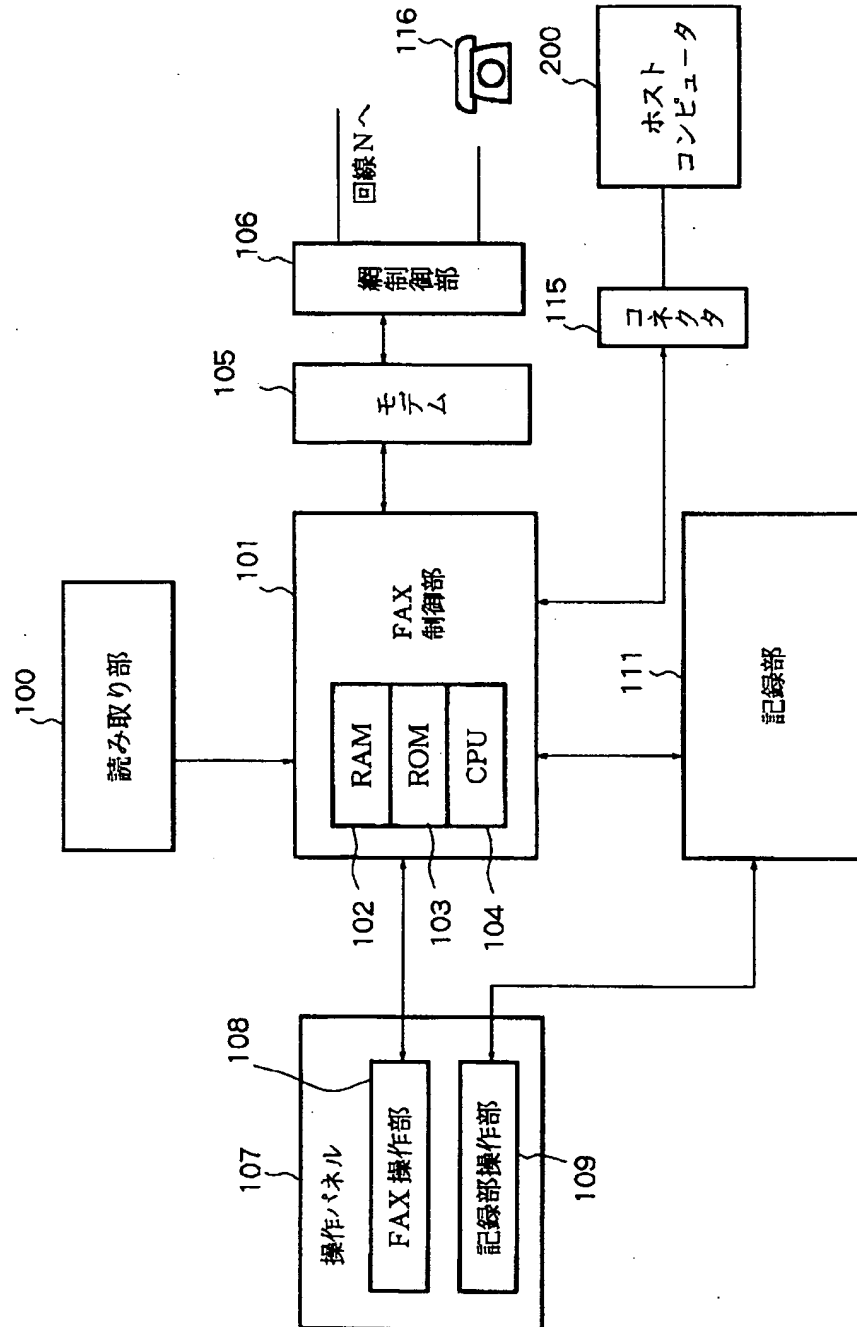
【符号の説明】

- 1 ファクシミリ装置
- 3 プリントバッファ
- 4 プリンタフォーマッタ
- 4a パラメータ記憶部
- 5 展開バッファ
- 6 ファクシミリエンジン部
- 7 プリンタエンジン部
- 100 読取部
- 101 ファクシミリ制御部
- 102 RAM
- 103 ROM
- 104 CPU
- 107 操作パネル
- 111 記録部
- 200 ホストコンピュータ

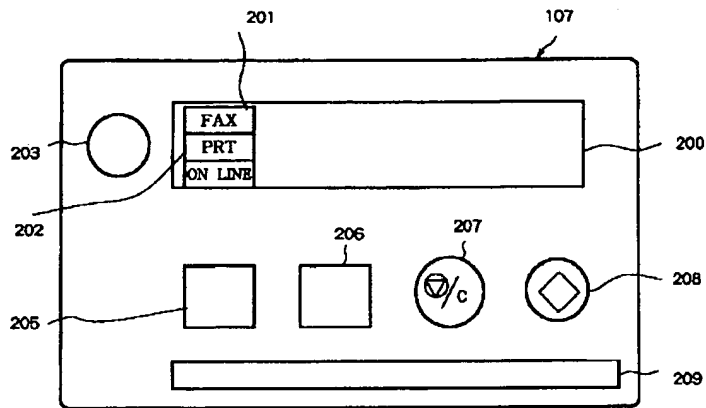
【図1】



【図2】



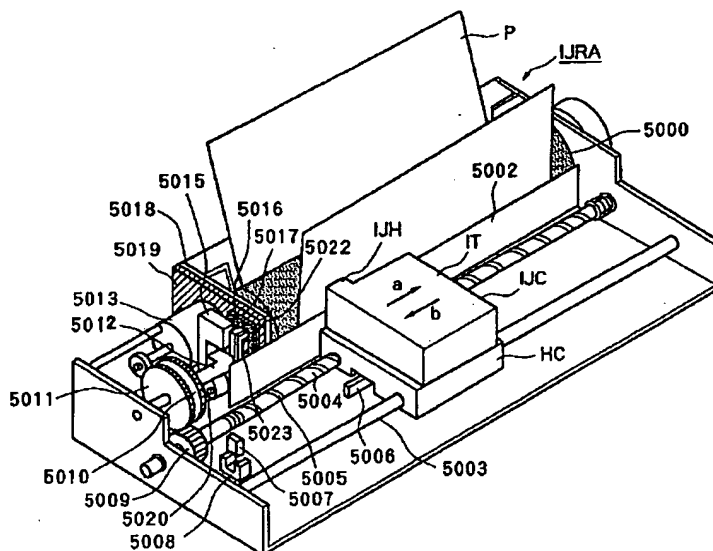
【図3】



【図4】

コマンド名	ファクシミリ送信用フォーマット解像度切り替えコマンド		
書式とパラメータ	ESC 1Bh	F 46h	[副走査方向解像度] パラメータ
機能	フォーマット展開解像度の主走査方向をファクシミリ通信の画像規格に設定し、副走査方向をパラメータの値に設定する。		

【図6】



【図5】

